

ASIRU —アシル—

令和5年7月26日発行 第12号



特別支援教育コーディネーターを対象としたオンライン交流会

5月17日(水)、25日(木)の両日、特別支援教育コーディネーター(以下コーディネーター)間で業務の情報共有とネットワークを広げることを目的とした「特別支援教育コーディネーターを対象としたオンライン交流会」を実施しました。

当日は、令和4年度専門家チーム委員等で御協力いただいた6名の先生を講師に招き、講話や交流等で指導助言いただきました。

【説明】「特別支援コーディネーターの役割について」

説明者：釧路市立清明小学校教諭 志田 稚佳 氏

特別な教育的支援を必要とする児童の理解と支援

- ・第1学年では、学校における生活習慣が身に付いていないことから、学校生活への不安が要因となる落ち着きのない行動が見られることについて、全教職員で共通理解を図ること
- ・絵カードなどの視覚による支援について、児童の困り感に応じた支援ツールを活用するなど、多様な支援方法への理解を深めること

校内における連携体制の整備

- ・学級担任への支援を校内で検討すること
- ・保護者を交えたケース会議を行うなど、学校内だけではなく家庭との連携を図ること

【説明】「パートナーティーチャーの効果的な活用について」

説明者：北海道釧路養護学校教諭 福田 悠 氏
北海道釧路養護学校教諭 徳泉 瑞希 氏

意図的・計画的な活用

- ・1回目の相談以降はリモートによる相談となることから、PTの派遣の時間を放課後等に設定し、学校全体でPTの助言内容を共有するなど、全教職員が特別な教育的支援を必要とする児童への支援方法等への理解を深めること
- ・助言内容を「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」に記録し、学校内における支援方法の共有だけでなく、学校間での情報共有を意識すること



【交流】「業務を推進する上での課題や悩み等について」

助言者：

北海道釧路鶴野支援学校教諭 金岡 俊英 氏 北海道釧路養護学校教諭 福田 悠 氏
北海道釧路養護学校教諭 徳泉 瑞希 氏 釧路市立清明小学校教諭 志田 稚佳 氏
釧路町立遠矢小学校教諭 中根 照子 氏 北海道霧多布高等学校教諭 島 加奈 氏

1グループ3~4名で、「業務を推進する上での課題や悩み等」について参加者同士で意見交流を行いました。交流中、講師からこれまでの実践等を踏まえて指導助言いただきました。

参加者からは、「コーディネーターの役割について自信がなかったが、講師の説明を聞き、自分が取り組んでいることに自信をもつことができた。」「コーディネーターに求められる役割が多く、業務への見通しがもてないことがあったが、今後の業務で取り組むべきことに見通しをもつことができた」などの感想が聞かれました。



釧路管内特別支援連携協議会では、専門家チームによる巡回相談を行う予定です。特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の教育相談、具体的な支援や校内体制についてのアドバイス、特別支援教育についての研修等に活用できます。詳細は、巡回相談の実施に係る通知を御確認ください。

(連絡先：義務教育指導班 0154-43-9283 担当：松嶋)